

令和7年11月28日  
文 京 区

## 東日本高速道路株式会社が発行する「サステナビリティボンド」への投資について

文京区は、このたび、東日本高速道路株式会社（以下、「同社」という）が発行するサステナビリティボンド（東日本高速道路株式会社第126回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構併存的債務引受条項付）、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「サステナビリティボンド」とは、社会的・環境的課題の解決に資するプロジェクト（サステナビリティプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことであり、ソーシャルボンド・グリーンボンド等とともに、ESG<sup>(1)</sup>投資の対象となります。本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しております。

本債券の発行による調達資金は、同社が担う高速道路事業に充当され、「地域活性化」、「災害対策」、「交通安全の推進」、「環境保全」等の社会貢献活動及び「気候変動への適応」に活用されます。高速道路事業は、国連の策定する持続可能な開発目標（SDGs）<sup>(2)</sup>のうち、「目標8：働きがいも経済成長も」、「目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう」、「目標11：住み続けられるまちづくりを」等の達成にも貢献します。

文京区は、本債券を始めとしたサステナビリティボンド等への投資を継続的に実施することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

- (1) ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと
- (2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと